

## かすみがうら子ども大学（後期）第3回授業

### 「銀行は何をしているところ？」

#### 質問

①何人くらいの方が働いているのですか？（下稲吉東小 6年生）

常陽銀行では、社員が約3,700人働いています。

②一円玉を一つ作るのに約何円かかりますか？（下稲吉小 6年生）

1円玉を作る原料は、「アルミニウム」という金属です。現在、その「アルミニウム」の値段が高くなっているため、1円玉を1枚作るのに、2～3円かかると言われています。ただし、1円玉を作っている所（造幣局と言います）からは正式に発表されていませんので、だいたいこのくらいとってください。

③授業の中で、「銀行の利息よりたくさんもらえるところがある」と話していましたが、そのことについて詳しく教えてください。（下稲吉東小 5年生）

授業の中で、「お金をもっと増やしたいと思ったときには、銀行に預けておく方法以外の方法がある」とお話ししました。その方法を簡単に説明します。

銀行では、「投資信託」や「外貨預金」という商品があります。この商品は、増える可能性もありますし、減ってしまうこともありますので、よく勉強してから、このような商品を選ぶことが必要です。

このような商品は、小学生はまだ利用することができませんが、小学生のうちから、日本経済や海外経済のニュースに関心をもって、テレビや新聞を見ておくことが大切です。将来、役に立つと思います。

④お金の数え方を知ることができて良かったです。手数料が30円から100円に値上がりしたのはなぜですか？（霞ヶ浦北小 4年生）

昔は、お金を直接学校に持って行っていました。しかし、お金をなくしたりすると大変なので、銀行の通帳から、お金を引き落とす方法になりました。手数料をいただいているのは、その手続きをするために、人が作業するなど、お金がかかっているためです。その作業をするためのお金（手数料）は、ずっと同じではなく、色々な社会の状況で、変更することがあります。

⑤電子マネーってなんですか？（守谷市 松ヶ丘小 6年生）

セブンイレブンの「ナナコカード」や、電車に乗るときに使う「Suica」などのことです。電子マネーは、現金と同じ価値があるというデータをICカードとよばれるカードに記録させ、電気信号を利用し、お金の情報をやりとりする仕組みです。ICカードのほか、スマートフォンや携帯電話にも、電子マネーが使える機能があり、これをお店のレジの読み取る機械にかざすと、支払いを済ませることができます。

お金を持たなくても、電子マネーをもっていれば買い物をする事ができる事が良い

ところです。気をつけなければならないことは、お金を使っている感覚がなくなり、使いすぎてしまうところです。

⑥キョンシー（妖怪）に貼るお札（ふだ）として、お札は使えるのですか？

（下稲吉東小 4年生）

キョンシーに貼るお札（ふだ）には、特別な意味があるお札（さつ）です。  
お札（さつ）は、キョンシーには、ききめがないかもしれません。  
お札は、自分の必要なものなどを買うときのために大切に使いましょう。

⑦1,000円札を半分に破ると、500円になるのですか？（下稲吉東小 4年生）

半分に破れたお金は、そのままお店で使うことができません。破れていたり、燃えたりした場合は、銀行に相談してください。

＜面積が3分の2以上の場合＞

- 全額として引き換えることができます。

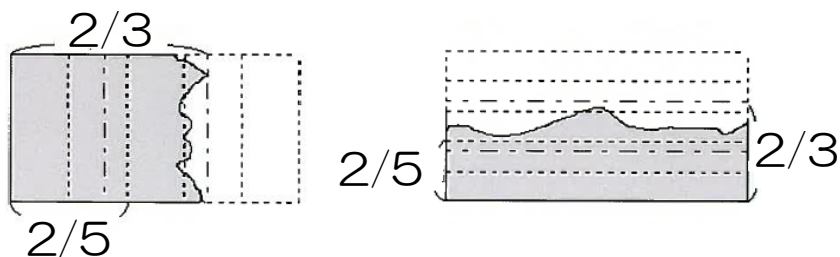
1,000円は、1,000円と交換してもらえます。



＜面積が5分の2以上、3分の2未満の場合＞

- 半額として引き換えることができます。

1,000円は、500円と交換してもらえます。



＜面積が5分の2未満＞

- お札としての価値がないため、交換できません。

